

環境衛生課からの お知らせ

環境衛生課（吉備庁舎）
清水行政局建設環境室

〈ごみ分別すれば資源〉

年末のし尿くみ取り

年末までにし尿のくみ取りを希望される方は、11月28日（月）までにし尿収集業者へお申し込みください。11月28日（月）を過ぎると、年末までにくみ取りできないことがあります。12月29日（木）から令和5年（2023年）1月5日（木）までの間、し尿収集業者は休業します。

地域	し尿収集業者
吉備・金屋地域	上田衛生 ☎ 52-4582 (有) 武田清掃 ☎ 32-2391
清水地域	(有) 武田清掃 ☎ 32-2391

コンポストの貸与制度で 生ごみを減らそう

●コンポスト（生ごみ処理容器）とは／畑などに置き、生ごみを土や落ち葉と混ぜて発酵させ、堆肥を作る容器です。生ごみを堆肥にすることでごみを減らすことができます。

●対象者／コンポスト容器の有効活用、維持管理ができ、後日、町からの簡単なアンケートに答えられる方

●貸出数／1世帯、または1事業所に2基まで

※サイズ／Φ60×H66cm

●その他／環境衛生課（吉備庁舎）または清水行政局建設環境室まで直接受け取りに来てください。

コンポスト利用者の声

コンポストの無料貸与制度を利用しておおむね1年を経過した方を対象に、アンケート調査を実施しました。

- ・生ごみをその日のうちに処分できるので大変助かります。
- ・1日500g～1kgのごみの減量になっています。
- ・自分でも、環境にやさしいことができると思えるところがいい。
- ・生ごみのおかげで畑に足を運ぶ回数が増えた。
- ・花の肥料になって大変良かった。
- ・虫やにおいの発生を懸念し使用をためらっていたが、使ってみるととても楽でした。今まで室内に生ごみ用ごみ箱を設置していたが、それが不要になり家がすっきりしました。

今回の調査結果から、回答をいただいた21人の方に限ってみると、年間1.69tの生ごみ減量効果があると推測できます。これは環境センターへの処理費分担金の約4万8522円相当になります。

鳥屋城小学校では、落ち葉をコンポストに入れて 堆肥にする活動に取り組んでいます



家庭から出る 燃えるごみの収集量

令和4年（2022年）8月／約321トン
先月から約18トンの増加

最近よく「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」という言葉を目にします。これは国連が定めた「持続可能な開発目標」の呼び名です。ごく簡単にいうと「みんなが幸せで快適な生活を送れるような未来を作るための目標」でしょうか。

私たち生活者が直接SDGsに取り組める活動の一つがごみの減量化です。より良い地球の未来のためにごみを減らしましょう！